

パトロールグループ



花だより

◆パトロールグループの七つ道具

桜木 晴代

パトロールグループのパトロール班の活動は目につき難いですが、下の写真のような各種道具(手づくりを含む)等を使い、安全な観察路を維持、貴重な野草の保護等のため日々活動しています。(グループ誕生は第210号参照)



(メンテナンス班は別にあり)

- 一段目 パトロール時の必携品
- 二段目 右は、杭・丸太・麻紐など・左はパトロール班の象徴的な逸品(私物)
- 三段目 杭打ち道具など
- 四段目 鎌と鎌カバー
(カバーはメンバーの家族の手作り)
- 五段目 名札・コース番号記入用ペンキなど

◆ドクダミ～白い追憶～

坪井 都子

梅雨時、ならやま第2コースの入口付近には見事にドクダミが咲き誇っていました。

○ドクダミ(藪草)学名; *Houttuynia cordata*
ドクダミ科ドクダミ属の多年草。湿地などに群生する。原産は東アジア・東南アジア。

○十薬(じゅうやく); ドクダミの独特の臭いの元になっているのはデカノイルーアセトアルデヒドという物質で、黄色ブドウ球菌や白癬菌等の細菌、又ある種のウイルスの活動を抑える力があり、傷口の止血や再生にも効果があるとされています。



優れた薬効を持ち、身近に沢山生えているドクダミは古くからゲンノショウコ、センブリと共に、民間治療薬として盛んに用いられてきました。煎じた汁は風邪や便秘や高血圧の予防に、火で炙って傷やおできに、鼻腔に詰めれば蓄膿症に効くと、まさに万能薬です。江戸時代の儒学者・本草学者である貝原益軒は、[大和本草]で「十種ノ薬ノ能アリトテ、十薬ト号ス…」と書いています。なおドクダミという和名は「毒を矯(た)める・止める」の意味をもつとか。

ちなみに4枚の花弁はじつは総苞片で、中心の円柱状の花序に微細な薄黄色の花を密生させ、花弁も萼もありません。

○その他の利用

- ・どくだみ茶(因みに爽健美茶の主原料)
 - ・観賞用(斑入りの品種や八重咲きを)
 - ・食用(葉を山菜として天ぷらに、食糧難の時代に地中の根茎をデンプン摂取として)
- ドクダミはすぐ身近にあり、十薬として昔から役立ってきた野草、改めて愛おしく感じます。